

千葉県立中央博物館実施計画に基づく外部評価について

○評価票の見直し

第1回会議において、外部評価の様式について説明したところだが、自己点検票の実施内容と実績が評価総括票でカバーされていないなど問題が生じたため、「自己点検票」と「評価総括票」をひとつにまとめた「外部評価票」において評価を行い、実施内容と実績を含めた評価結果を公開することとしたい。

■【改正前】様式が完成するまでのイメージ（第1回会議での説明）

- ・自己点検票の実施内容と実績が、評価総括票でカバーされていない。

① 自己点検票

令和7年度 千葉県立中央博物館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業2）（案）

重点事業 第2節 世界とのつながりを意識した活動

1. 事業内容および実績	取組内容	R7事業内容	R7実績
①生物多様性等に関する研究の推進と発信	○県内各地（下総台地、高総海岸部、荒山等）における動物種の調査研究と成果の発信 ○生物多様性に関する調査研究と成果の発信	・重点研究「下総台地部の自然」に関する調査研究及び資料収集 ・重点研究「高総海岸部における動物種の多様性」（計画立案、準備【再掲】） ・「全学展」に関する展示やトピックス展の実施	
②世界の博物館等との連携・交流	○海外の博物館等との相互参加型の博物館活動を通じた交流事業の実施 ○海外の機関との研究等による交流	・海外博物館との連携もつた連携、計画立案、研究等による交流	
③ウェブサイト、展示等の多言語化	○博物館利用案内や展示案内などのウェブサイトの表現の平易化、英訳併記など ○デジタルミュージアムなどウェブコンテンツの表現の平易化、英訳併記など ○英語表示の解説パネル等の表現の平易化、英訳併記など ○英語表示の解説パネル等の表現の平易化、英訳併記など	・表現の平易化（英訳併記）に向けた資料調査 ・特別展の解説パネル等の表現の平易化、英訳併記など	イ
④千葉県と世界のかかわりについての研究	○海外の学問や文化、芸術などが千葉県と世界のかかわりについて調査研究と成果の発信	・「千葉の海文化と東アジア」に関する研究・資料収集【再掲】 ・海外から入ってきた学問「ちばの蘭学」に関する学術調査、計画立案 ・「千葉のちば」に関する調査・研究及び資料収集	

取組内容	指標	過去実績		達成度・判定（R7年度）					目標値			備考
		(R6)	(R6)	目標値	実績値	達成率	判定	(R6)	(R6)	R10		
生物多様性等に関する研究の推進と発信	展覧会で「生物多様性の理解が深まった」と感じた参加者の割合	(新規)	(新規)	50%				50%	70%	80%以上		
世界の博物館等との連携・交流	展覧会で「千葉県と世界のかかわりへの理解が深まった」と感じた参加者の割合	(新規)	(新規)	50%		ウ		60%	70%	80%以上		
千葉県と世界のかかわりについての研究	海外博物館等との共同研究の取組（連携）	0件	0件	1件				1件	1件	2件		

3. 自己点検

エ

② 有識者評価票

令和7年度 千葉県立中央博物館実施計画 有識者評価票（案）

記号表

総合的評価

総合的目標、中央博物館の体面と認識

重点事業 第1節 千葉の海の魅力を深掘り、国内外に発信

重点事業 第2節 世界とのつながりを意識した活動

重点事業 第3節 地域間との連携強化

重点事業 第4節 デジタル情報の活用

重点事業 第5節 資料を未来に引き継ぐ

重要事項

オ

③ 評価総括票

令和7年度 千葉県立中央博物館実施計画 評価総括票（総合的目標）（案）

資料2-4

総合的目標

1. 判定

項目	指標	達成度・判定（R7年度）				次年度目標値
		目標値	実績値	達成率	判定	
年間利用者数	入館者数（本館）	109,000人				
	入館者数（海博）	61,000人		ウ		
	ウェブアクセス数（本館）	212,000件				
	ウェブアクセス数（海博）	59,250件				

2. 自己点検

エ

3. 有識者による評価

オ

4. 今後の活動方針

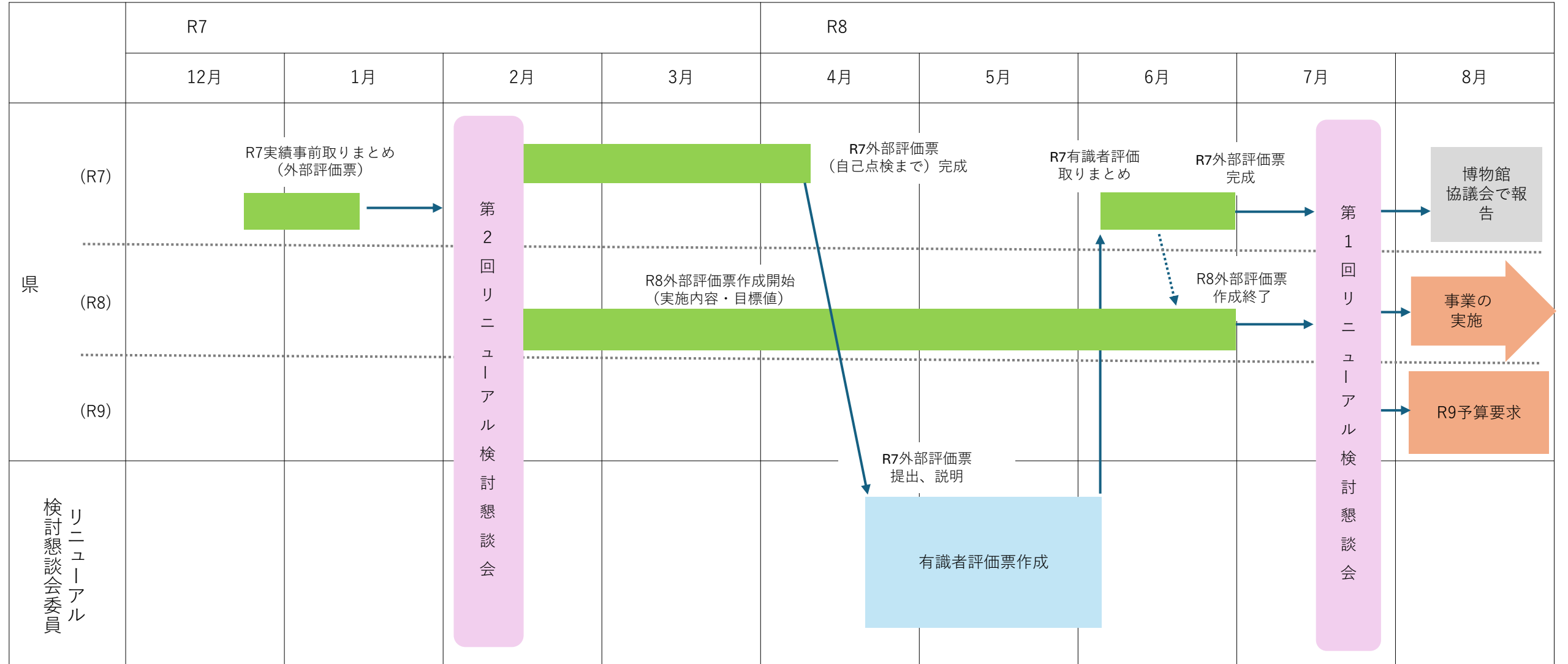
カ

青枠は館が記入
赤枠は委員記入

○スケジュール

令和6年度に策定した「千葉県立中央博物館実施計画」に基づき令和7年度実績から実施する外部評価について、対象年度の翌年度に評価を実施し、結果を翌々年度の予算要求に組み込めるよう、進行スケジュールを設定することとしたい。

■ 外部評価実施スケジュール（案）



・ R7実績事前取りまとめ等の説明
・ ディスカッション

・ R7外部評価結果（R7外部評価票）の報告
・ R8実施内容の説明